

ノーム・チョムスキー

(言語学者、政治学者)

ネオリベリズム

新自由主義はファシズムを招く

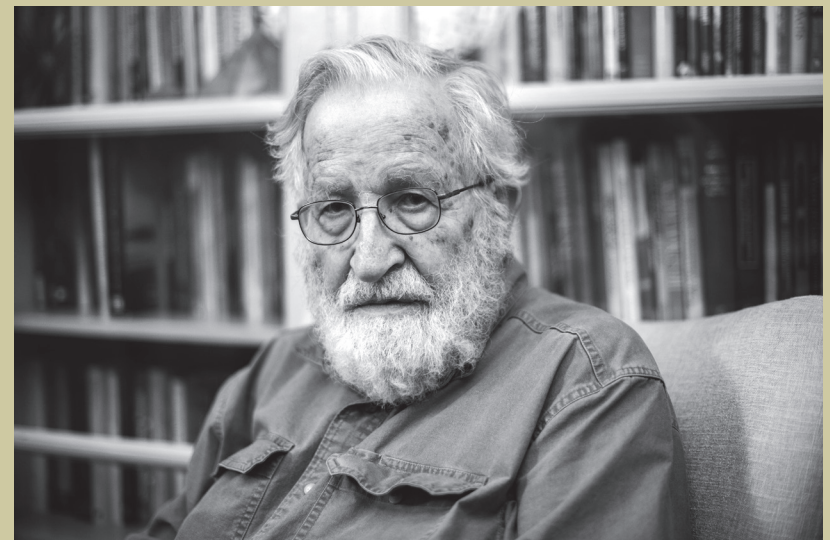
インタビュー＝吉成真由美 (サイエンスライター)

自国の都合で世界の秩序を歪める、大国アメリカ。

政府の介入を最小限にし、市場原理に経済をゆだねた新自由主義のもと、

拡大する富の格差で膨らみ続ける市民の不満はどこへ向かうのか。

政治活動家としても知られるチョムスキーに問題の核心を聞く。



グローバル化が進んで、どの国もはや一国だけではやっていけないが、特に資源の少ない小国は、グローバル市場へのアクセスと安全保障が国家の最大課題となる。現在、世界的な傾向として、ナシヨナリズム、ポピュリズム、極右・極左主義などが台頭してきており、グローバル市場の安定が大きく揺らいでいる。その背景には一体どのような理由があるのだろうか。

ネオリベラル政策の悪影響

——ナシヨナリズム、ポピュリズム、極右・極左主義などが、ハンガリー、ポーランド、オーストリア、ドイツ、フランス、トルコ、ブラジル、アメリカなどの国々で台頭してきています。これらはファシズムにつながる傾向だとして、警戒すべきなのでしょうか。

チョムスキー それぞれの国に特有の理由もありますが、共通しているものもある。その一つは、前世代におけるネオリベラル政策（新自由主義政策——政府の介入を最小限にした自由市場経済を推進）の強い影響です。これらの政策は、規制を緩和し、国民の政治への参加を排除してしまうなど、「ほとんどすべての生活を経済化してしまう」というようにデザインされたも

ので、現在ではその悪影響は明白です。規制緩和政策は、権力と富の集中を促し、急速に寡占・独占を許し、巨大な格差を引き起こしました。

アメリカはまだ経済が結構うまくいっている国ですが、実質賃金は一九七〇年代のそれとほとんど変わっていません。付帯手当（有給休暇や健康保険、年金など）はかえって少なくなりました。富の集中は明らかに民主主義の衰退に直結します。集中した富や企業の力が政治に大きな影響を与えることは明白ですが、それが過激なほど大きくなった。

ヨーロッパでも同様ですが、もう一つ重要な要素が加わります。重要な事柄についての意思決定が、もはや各国の議会の手から離れて、ブリュッセル（EU本部があるベルギーの首都）にいる、選挙で選ばれたのでもない官僚たちや、彼らに影響を与えるフランスやドイツの銀行の手に移ってしまっただけです。しかも一般市民にとって非常に有害な決定がなされる。その結果、多くの怒りや恨みや恐怖がついて、政党の「中道派の崩壊」につながってきたのです。

ブラジルで起こった最悪の選択

チョムスキー ブラジルは少し異なっています。

ルラ・ダシルバ（大統領在任二〇〇三〜二〇一一年）のもとで非常に成功していた時代があって、世界銀行の長期調査によれば、「黄金の二〇年」と呼ばれるものでした。貧困が急速に減って、多くの人たちに開かれた社会になった。それまで社会から排除されていた層の多くの人々が、社会システムに参入でき、大学に行くことも可能になった。これが二〇一三年まで続きました。

これに対して二〇一三年から右翼エリートたちによるクー（coup）反乱）が起こりました。まず完全に捏造された疑惑（政府会計の不正操作）によりジルマ・ルセフ（ブラジル初の女性大統領、在任二〇一一年〜一六年）の弾劾が始まった。そして二〇一八年一〇月の次期大統領選挙では、ルラが再選される可能性が非常に高かった。とても人気があったからです。そこで彼らはルラを（収賄などの容疑で）投獄した。

さらにソーシャルメディアを使った大キャンペーンが始まりました。嘘と中傷で相手を悪者にでっちあげる汚い手口のプロパガンダです。それらの人々を選んだのが、最悪の人物（ジヤイル・ボルソナロ大統領）で、なかでも最低だと思えるのは、議会でジルマ・ルセフ弾劾の投票をした際に、彼はもちろん弾劾賛成に票を投じたんですが、その票を彼女の拷問者（ウ

スラ）に捧げると言ったのです。人間としてこれ以上落ちることができませんでしょうか。

さらに、ボルソナロ政権は、国を売り払う政策を打っています。彼の経済政策のグル（教祖）は、急進的なシカゴ学派のパウロ・ゲデス（ボルソナロ政権の経済大臣）で、彼のスローガンは「すべてを民営化しろ」というものです。国を海外の投資家のために提供しろと。

*1 軍事政権に抵抗する左翼ゲリラ組織の一員だったルセフは、一九七〇年代に拘禁され、ひどい拷問を受けていた。そのとき、の拷問指揮官がアルベルト・フリアント・ウストラだった。

誤った怒りの矛先

チョムスキー 巨大な富が蓄積される傍らで、一般市民の間に、希望の喪失、スタグネーション（停滞）、崩壊への不満がつり、自然と怒りや恨みを生み出しています。これらの感情はデマゴーク（煽動家）たちによって利用され、身代わりとなるターゲットに向けて攻撃の矢が放たれることになる。一般市民を押しつぶしている「ネオリベラル・システム」という本命が攻撃されるのではなく、移民や黒人やヒスパニックたちがターゲットになる。ポピュリズムと言っているけれども、ファシズムの第一歩です。イギリスのブレグジット（EU離脱）も同じ